

一般社団法人 日本リハビリテーション工学協会

2014年度第6回(通算第28回)理事会 議事録

1. 開催日時：2015(平成27)年3月15日(日) 11:00～17:10(12:50～13:30休憩)
2. 場 所：横浜市総合リハビリテーションセンター 4階会議室
3. 審議事項および資料
第1号議案(専権等の報告) 新入会者の承認についてメールによる承認者の報告について
第2号議案(専権等の報告) 業務執行報告(総務系)
第3号議案(専権等の報告) 業務執行報告(事業系)
第4号議案(専権等の報告) 3月14日統括会議報告
第5号議案(専権等の報告) 事業の後援および協賛に関する承認について(報告)
第6号議案(専権等の報告) 本協会の協力名義の使用の許可の専権報告(2014.12～2015.3)
第7号議案(専権等の報告) 新規後援依頼の専権報告(2014.12～2015.3)
第8号議案(決議) 新入会者の承認について
第9号議案(継続審議) 2014年度(2014年11月～2015年2月)の決算報告
第10号議案(専権等の報告) 第3回東日本復興支援リハビリテーション工学講習会 in 宮城進捗報告
第11号議案(専権等の報告) 高知福祉機器展出展について
第12号議案(決議) H.C.R.2015 出展について
第13号議案(専権等の報告) 次期編集委員の選出について
第14号議案(決議) 機関リポジトリ掲載チェックリストの確定について
第15号議案(決議) 第31回リハ工学カンファレンス開催決定について
第16号議案(決議) 開催地に関係なく依頼するリハ工学カンファレンスの協賛団体の追加について
第17号議案(決議) 関西支部の企画提案についての活動費申請について
第18号議案(決議) 法人内SIG(仮称)への移行措置について
第19号議案(決議) アジアリハ工学連携会議(仮称)への参加について
第20号議案(決議) RESKO(韓国リハ工学会)、TREATS(台湾リハ工学会)とのMOA締結について
第21号議案(決議) 理事会規則の改定について
第22号議案(決議) 役員候補者選出規則の改正について
第23号議案(決議) 役員候補者選出の理事会推薦役員候補者について
4. 理事総数 15名
出席理事数 14名
会長(代表理事) 繁成剛
理事 岩崎満男、沖川悦三、金井謙介、元田英一、剣持悟、鈴木聖貴、高原光恵
塚田敦史、畠中規、古井 透、水澤二郎、宮野秀樹、山形茂生
監事 井村 保
事務局 深野栄子
欠席理事 相良二郎
山形理事退席：21号議案(16:00)以降

5. 議事の経過の概要及び議決の結果

- (1) 定款第49条に基づき、議長となる会長の繁成剛が本日の理事会は定数を満たしたので、有効に

成立した旨を告げたのち、開会の辞を述べた。

- (2) 議事録署名人について、議長からの指名により、本日出席理事の元田英一と剣持悟の2名を選出した。

第1号議案（専権等の報告）新入会者の承認についてメールによる承認者の報告について

事務局統括担当の沖川理事より、2014年度第4回（通算第26回）理事会以降に承認された用9月23日～12月11日、12月12日～2月20日までの計2名（正会員2名（年度当初1名、下半期1名））の入会が報告された。

第2号議案（専権等の報告）業務執行報告（総務系）

総務統括担当の鈴木理事より、各業務執行理事の業務執行状況（2014年11月30日～2015年3月14日）が報告された。なお専権事項の報告については、別途議案提出し審議している。

■ 総務統括／規則選挙担当

- ・ 代議員選挙にむけて選挙管理委員会とのすり合わせを行った。
- ・ 各種規程（理事会規程・役員候補者選挙）の改定に向けて修正案を提示した。

■ 理事会・総会担当

- ・ 2014年度臨時社員総会の総会資料の最終取りまとめを行った。
- ・ 2014年度臨時社員総会議事録の最終取りまとめを行った。
- ・ 2014年度第5回（通算第27回）臨時理事会および事後調整会議の開催案内を行った。
- ・ 2014年度第5回（通算第27回）臨時理事会および事後調整会議の議事次第および議案等の取りまとめを行った。
- ・ 2014年度第4回（通算第26回）理事会議事録の取りまとめを行った。
- ・ 2014年度第5回（通算第27回）臨時理事会議事録の取りまとめを行った。
- ・ 2014年度第6回（通算第28回）理事会および事後調整会議の開催案内を行った。

■ 事務局統括／財務担当

- ・ 公益法人化を目標とした財務管理・諸表の整備：法人統合した財務管理・諸表での問題点等から改善策を検討し、公益法人化を目標とした財務管理・諸表の整備を実施した。
- ・ 2014年度会計状況を確認し、法人統合後の問題点等について改善方法を検討した。
- ・ 後援、協賛依頼への承認回答を行った。※後援3件（新規1件、継続2件）、協賛2件（継続2件）、協力1件（新規）
- ・ ホームページの運営管理：会員サービスの一環とし、迅速に情報を掲載した。
- ・ メールニュースの配信：メールニュースを配信し、会員に情報提供を行った。※12月1件、1月2件、2月5件

■ 広報・渉外担当

- ・ 協会リーフレット（パンフレット）のコンテンツを検討した。発行時期までは検討に至っていない。
- ・ 新規後援依頼1件、協会協力名義仕様の依頼1件あり、理事への意見伺いのうえともに専権行使の発行宣言を行った。

第3号議案（専権等の報告）業務執行報告（事業系）

事業統括担当の金井理事より、各業務執行理事の業務執行状況（11月30日～3月14日）が報告された。なお専権事項の報告については、別途議案提出し審議している。

■ カンファレンス担当

- ・ 第30回リハ工学カンファレンス in 沖縄の開催準備：2月19～21日に沖縄を訪問し、実行委員長等と調整を行った。助成上限金額は4月中旬に決定予定である。大会HPが開設された。
- ・ 第31回リハ工学カンファレンス開催に向けて現地担当者調整を行った。

■ コンテスト担当

- ・ 福祉機器コンテスト 2014 結果報告書の作成と配布をし、協会 HP に掲載した。
- ・ 福祉機器コンテスト 2015 事務局を決定し、選考委員の内諾をいただいた。
- 協会誌担当
 - ・ 協会誌 Vol. 30 No. 1 (特集 30 巻記念号) の発行、各 SIG・支部へ寄稿要請を行った。
 - ・ 編集委員会を開催した (1 月 10、11 日 新横浜にて)。
 - ・ 次期編集委員を募集し、選出した。
- 分科会・委員会担当
 - ・ 法人内 SIG 化への推進を図る目的で、3 月 15 日 理事会に議案を提出した。
 - ・ 第 3 回復興支援講習会に関して、各 SIG への協力要請を行った。
- 企画担当
 - ・ 第 3 回復興支援講習会の開催準備 : 5 月 30、31 日 に仙台市にて開催が決定した。
 - ・ 第 2 回航空関係者のための車椅子取り扱い講習会の開催 : 2 月 10 日 に羽田空港第一ターミナル ANA 講堂で開催した。国内航空会社職員 200 名以上が参加した。業界として推奨するやり方や提案がないと使用者や現場が混乱すると思われる。
 - ・ 沖縄カンファプレセミナー「リハビリテーション工学を活用した生活セミナー」を NPO 法人沖縄県脊髄損傷者協会と 2 月 21 日 に開催した (参加者 47 名)。
 - ・ 第 4 回合同シンポジウム準備・実行委員会を開催した (12 月 21 日、2 月 21 日)。
 - ・ バリアフリー2015 出展調整および出展社プレゼンテーションに関する調整 : 小間番号は 4-44、出展者セミナーは 4 月 17 日 (金) 13:30~14:30 に開催する。
 - ・ HCR2015 出展の準備、仮申し込みを行った。
- 国際担当
 - ・ RESKO との協議 : 国際協力や沖縄カンファレンスでの国際セミナー開催についての Moon 理事と意見交換をした。RESNA Asia Pacific Conference (3 月・シンガポール) に関する当協会の HP にて広報依頼への対応を行った。
 - ・ 当協会のカンファレンスに関して RESNA の HP へ広報依頼し掲載された。
 - ・ 協会英語 HP の情報を更新した。
 - ・ 4 月のアジアリハ工学連携会議 (仮称) への参加については調整中である。

第 4 号議案 (専権等の報告) 3 月 14 日統括会議報告

総務統括担当の鈴木理事より、3 月 14 日に行った統括会議の報告がされた。

出席者 : 鈴木総務統括理事、金井事業統括理事、沖川事務局統括理事、深野事務局長

オブザーバー : 宮野企画担当理事、山形カンファレンス担当理事

■ 福祉機器コンテスト 2015

- ・ 沖縄カンファレンス会場に過去のコンテストの受賞作品を展示する件 他

■ 各種規程と役員候補者

- ・ 役員候補者選出規則と理事会規則の改正と役員候補者について検討した。軽微な修正を加えて理事会審議とした。

■ 2015 年度予算案

- ・ 各担当理事からの予算要求の確認等

第 5 号議案 (専権等の報告) 事業の後援および協賛に関する承認について (報告)

事務局統括担当の沖川理事より、前々回の理事会以降で、継続依頼のため専権事項として承認回答した後援・協賛依頼についての報告がされた。

第 6 号議案 (専権等の報告) 本協会の協力名義の使用の許可の専権報告 (2014. 12~2015. 3)

広報・渉外担当の塚田理事より、新規の協力依頼「航空関係者向け車いす取り扱いセミナー」(主催 :

全日本空輸株式会社 日本航空株式会社、共催：日本身体障害者補助犬学会) 開催日：2015(平成27)年2月10日)」があり、1月22日～1月29日まで意見収集を各理事に対し行ったところ、特に意見はなく、問題無いとして、1月29日に専権行使の発行宣言を行ったことが報告された。

第7号議案(専権等の報告) 新規後援依頼の専権報告(2014.12～2015.3)

広報・渉外担当の塚田理事より、新規の後援依頼「支援機器活用拡大シンポジウム 情報基盤構築で進めるイノベーション創出(主催：国立障害者リハビリテーションセンター 開催日：2015(平成27)年2月10日)」があり、2月19日～2月26日まで意見収集を各理事に対し行ったところ、特に意見はなく、問題無いとして、2月26日に専権行使の発行宣言を行ったことが報告された。

第8号議案(決議) 新入会者の承認について

事務局統括担当の沖川理事より、2014年度第4回(通算第26回)理事会以降のメーリングリストによる確認及び承認をおこなった者以降、今回の理事会までの入会希望者(年度当初正会員1名)リストが提示され、審議の結果、満場一致で承認された。

承認13、非承認0 (会長除く)

第9号議案(継続審議) 2014年度(2014年11月～2015年2月まで)の決算報告

財務担当の沖川理事より、2014年7月～2014年10月までの収支計算書総括表、正味財産増減計算書総括表(フロー式)、貸借対照表総括表が提示され報告された。予算の執行状況、カンファレンス及びコンテストの会計等を厳密に整理し、3月会計で報告することとし、継続審議となった。

第10号議案(専権等の報告) 第3回東日本復興支援リハビリテーション工学講習会 in 宮城進捗報告

企画担当の剣持理事より、第3回東日本復興支援リハビリテーション工学講習会 in 宮城の開催案内が提示され、本講習会は協会が行う復興支援活動の中心であり、会員数の少ない東北地方に対する貴重な広報活動の場として、また、被災地でどんな支援、技術が必要とされているか調査する機会ともなっているため、協会の魅力を発信し会員増につなげるために、また合わせて協賛を募集し、復興支援Tシャツも作成し、一部を復興支援活動補助に活用することが報告された。

第11号議案(決議) 高知福祉機器展出展について

事業統括担当の金井理事より、2013年度試行的に出展した高知福祉機器展について、今年度の事業計画通り継続出展の予定であったが、会期が7月3日～5日と協会来年度にずれ込んでおり、2015年度事業計画及び予算確定前の段階であるため、審議をお願いしたいと提案された。2015年度事業計画項目の優先性、必要予算規模等、総合的かつ横断的な審議の結果、満場一致で承認された。

承認13、非承認0 (会長除く)

第12号議案第(決議) H.C.R.2015 出展について

事業統括担当の金井理事より、理事会MLにて専権伺いをしたH.C.R.2015(2015年10月7～9日@東京ビッグサイト)への出展に関して、理事からは反対意見はなかったが、多額の支出があるものは専権に馴染まないとの監事意見を踏まえて再度本理事会に提案され、審議の結果、満場一致で承認された。

承認13、非承認0 (会長除く)

第13号議案(専権等の報告) 次期編集委員の選出について

協会誌担当の高原理事より、次期編集委員(任期：2015年4月～2017年3月)について、編集委員会による推薦と協会誌などによる公募から、下記4名を選出したことが報告された。

■新規編集委員(敬称略)

木澤健司(東京都立墨東特別支援学校 自立活動教諭/指導教諭)

北岡剛 (テクノクラフト リハエンジニア)
佐藤遼太郎 (太田西ノ内病院 OT)
谷口公友 (広島国際大学 PO)

第14号議案 (決議) 機関リポジトリ掲載チェックリストの確定について

協会誌担当の高原理事より、協会誌掲載論文の機関リポジトリでの公開について、著者および機関が判断しやすいように、チェックリストを確定させたいと提案され、審議の結果、満場一致で承認された。
承認13、非承認0 (会長除く)

第15号議案 (決議) 第31回リハ工学カンファレンス開催決定について

カンファレンス担当の山形理事より、第31回(2016年度)リハ工学カンファレンスを高知県で開催したいと提案され、審議の結果、満場一致で承認された。
承認13、非承認0 (会長除く)

第16号議案 (決議) 開催地に関係なく依頼するリハ工学カンファレンスの協賛団体の追加について

広報・渉外担当の塚田理事より、広報戦略として、毎年開催のリハ工学カンファレンスの協賛依頼団体9団体、後援依頼団体3団体を新たに追加したいとの提案がされ審議の結果、満場一致で承認された。
承認13、非承認0 (会長除く)

第17号議案 (決議) 関西支部の企画提案についての活動費申請について

分科会・専門委員会担当の岩崎理事より、関西支部より活動費の申請があったことが報告され、審議の結果、満場一致で承認された。
承認13、非承認0 (会長除く)

第18号議案 (決議) 法人内SIG (仮称) への移行措置について

分科会・専門委員会担当の岩崎理事より、現在設立されている10SIGは、それぞれ主体的に活動内容を企画・実施しつつ、時に複数SIG間で協同の事業を行っており、主な関心領域やメンバーの専門領域、そして企画の進め方も異なる多様性に富んだ10グループの活動組織は、当法人が企画する事業を実現化する際に大変頼りになるパートナーであり、当法人の強みでもある。しかし、SIG会員の中で、当法人の正会員が少ないことも事実であり、今後の協会活性化のためには会員増が必須であるので、この機会に、法人内SIGへの移行を実現し、同時に正会員獲得の良い機会と捉えて積極的に次の施策(案)を打つ必要があるとの提案があり、審議の結果、4SIG(SIG褥そう防止装置、自助具SIG、特別支援教育SIG、乗り物SIG)の法人内SIG化が満場一致で承認された。

承認13、非承認0 (会長除く)

- 1) 当法人の正会員と学生会員は、法人内SIGのうち2つまで登録ができる(一人の会員が複数のSIGに入会可能だが、事務局登録は2つまで)
- 2) 定款施行細則第34条(会費)2項にて、法人内SIGへの移行措置として、SIG会員のみが当法人の正会員になる場合は、入会金1000円の免除、および登録初年度の年会費通常8000円を半額免除する。
- 3) 法人内SIG会費は無料とするが、SIGの運営費として登録数のうち10名までは一人当たり5000円、11名以上50名までは一人当たり1000円(51名以上は無し)の運営費を各法人内SIGに付与する(最大90000円)
- 4) カンファレンスでのSIG講習会の場(時間枠・場所)と講師(1名)を提供するために、カンファレンス担当理事による実行委員会引継ぎ事項とする。

第19号議案（決議）アジアリハ工学連携会議（仮称）への参加について

国際担当の畠中理事より、現在、正式な発足に向けた準備会を行っているアジア連携会議に、相良副会長を派遣（4月20日を想定）し、会のあり方への当協会の意見を各国に伝えたいとの提案があり、審議の結果、満場一致で承認された。

承認13、非承認0（会長除く）

1. 会議名称について：5つの候補が提示されているが、当協会としては、相良副会長が推薦している Coalition on Rehabilitation Engineering & Assistive Technology of Asia (Create Asia)を提案したい。
2. 会議の財政について：Ang先生は年間各参加団体が\$1000程度を拠出して、事務局費用とし、国際会議を持ち回りで行い、それは独立採算と提案されているが、当協会としては、会費を決め、固定の事務局を設けるのではなく、その年の国際会議のホスト国の団体が独立採算で運営する、という提案としたい。会議を毎年開催とするか、隔年開催とするかは議論が必要。当初は隔年程度が適当と思われる。
3. 各国の代表2名程度の参加費用はホスト国がカバーし、広報など、RESKO-RESJAのMOAのフォーマットに沿って参加国全体でシェアする。
4. 2017年開催のiCREATeについて：この会議を兵庫リハが誘致したいという希望が表明されているが、これを了解し、依頼があれば協会として応援する。

第20号議案（決議）RESKO（韓国リハ工学会）、TREATS（台湾リハ工学会）とのMOA締結について

国際担当の畠中理事より、RESKO（韓国リハ工学会）と当協会との間で締結されたMOA（相互協力に関する覚書）をTREATS（台湾リハ工学協会）との3か国間覚書に拡大したく、文面は現在調整中であるので、その方向で話を進めたいとの提案があり、審議の結果、満場一致で承認された。

承認13、非承認0（会長除く）

第21号議案（決議）理事会規則の改定について

規則・選挙担当の鈴木理事より、役員交代に伴う定数の決議や役員の増減を決める規則が明記されていないため理事会規則を変更したいとの提案があり、審議の結果、満場一致で承認された。

承認12、非承認0（会長除く）

（特命理事理事定数）

第4条 理事定数は業務の運用に従い、定款第33条第1項の定数内において理事会の決議によるものとする。前条の規定に関わらず、当法人の運営上、特別な業務の遂行が生じた場合は、定款第33条第1項第1号に定める定員の範囲内で、その必要性に応じて特命理事をおくことができる。

2 選挙に関する事項は理事会が決定する。特命理事は理事会が推薦し、社員総会の決議を受けなければならない。特命理事が交代する場合も同様とする。

2 特命理事の設置期間は、その業務が完了するまでとする。

第22号議案（決議）役員候補者選出規則の改正について

規則・選挙担当の鈴木理事より、第5回臨時理事会で役員選挙が廃止され、その際の議論を踏まえ、役員候補者選出規則の修正が必要となったため、改正を行いたいとの提案があり、審議の結果、満場一致で承認された。

承認12、非承認0（会長除く）

第3条 役員候補者選挙は2年に一度行う通常選挙とする。役員に欠員あるいは増員が生じた場合に行う補欠選挙の二つとする。

2 監事は理事会において監事候補者を推薦し、正会員による信任投票とする。

3 役員候補者選挙は正会員の郵便投票によるものとする。

- 4 理事に欠員が生じた場合もしくは定款第33条第1項の定数以内の増員が必要な場合、通常選挙の次点者が繰り上げとなる。次点者がいない場合、補欠候補者は正会員の立候補補欠候補者は理事会の推薦をもって行なうこととするとし、社員総会に諮るものとする。

第8条 選挙管理委員会は、理事会により承認を受けた日から、当該選挙の次の役員候補者選挙を担当する選挙管理委員会が発足するまでの期間設置する。

- 2 選挙管理委員会の委員が補欠役員候補者選出における理事会の推薦候補となる場合は、当該委員に対する後任の就任をもって委員を辞すし、その後推薦候補者となる。

第11条

~~2 補欠候補者選出は、以下のように行う。~~

- ~~① 理事会は、定められた様式により選挙管理委員会に推薦候補者届、監事候補者届のいずれか片方もしくは両方をすみやかに提出しなければならない。~~

第13条

- ① 理事候補者が第3条第2項の理事定数であれば正会員による信任投票とし承認しない場合に×印を記入する様式とする。

第16条 選挙結果の判定は以下のように行う。

- ① 理事候補者の得票数の多い者から上位定員数とし、を当選とする定員数を超える場合、次点候補者となる。
② 理事候補者の得票数が同数ので定員数を超える場合には、総務担当理事が立ち会いのもとに選挙管理委員会がくじ引きを行うい定員数の当選者を決定する。

第17条

(エ) 役員候補者の得票結果及び当落リスト

第23号議案（決議）役員候補者選出の理事会推薦役員候補者について

規則・選挙担当の鈴木理事より、役員任期改定にともない理事会として円滑な業務を遂行するために、理事会推薦役員候補者の選定を行ない、以下の理事10名、監事2名を理事会推薦としたいとの提案があり、審議の結果、満場一致で承認された。

承認12、非承認0（会長除く）

第24号議案（決議）福祉機器コンテスト2014の決算について

コンテスト担当の元田理事より、福祉機器コンテスト2014の決算案が提示され、審議の結果、満場一致で承認された。

承認12、非承認0（会長除く）

第25号議案（決議）福祉機器コンテスト2015実施計画と予算について

コンテスト担当の元田理事より、福祉機器コンテスト2015実施計画と予算について、福祉機器コンテスト2015実施要綱（案）、福祉機器コンテスト2015予算案が提示され、審議の結果、満場一致で承認された。

承認12、非承認0（会長除く）

第26号議案（専権報告）福祉機器コンテスト事務局との契約について

コンテスト担当の元田理事より、福祉機器コンテスト2015のコンテスト事務局を今年度も有限会社車座にお願いし（契約期間は2015年3月1日より2016年2月29日）、契約を交わしたことが報告された。

第27号議案（決議）福祉機器コンテスト選考委員の承認

コンテスト担当の元田理事より、福祉機器コンテスト2015の選考委員を選任したので承認をお願いしたいと提案があり、審議の結果、満場一致で承認された。

承認12、非承認0（会長除く）

議長は、以上をもって一般社団法人日本リハビリテーション工学協会の 2014（平成 26）年度第 6 回（通算第 28 回）理事会に関する全ての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。（17 時 10 分）

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、議長並びに議事録署名人は次に署名又は記名・押印する。

2015 年 3 月 15 日

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会平成 26 年度第 6 回理事会

議 長 繁成 剛

議事録署名人 元田 英一

議事録署名人 剣持 悟